

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年9月29日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00733.html

記事ページ本文

現在位置

トップ

>

会見・報道・お知らせ

>

大臣記者会見等

>

関芳弘 文部科学大臣の会見

> 関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年9月29日）

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年9月29日）

令和8年9月29日(火曜日)

教育、科学技術・学術、スポーツ

キーワード

「AI for Science革新的研究推進事業（ARiSE）」の採択結果の発表と採択課題への期待、北極域研究船「みらいII」の引渡日の決定および今後の予定、18歳未満の選挙運動を一律禁止とする公選法を「憲法違反」とする地裁判決の受け止めと主権者教育への影響、ノーベル賞受賞者発表への期待と基礎研究への支援方策、東京大学における次期総長選考に関する受け止め、コミュニティ・スクールに期待する役割および導入拡大に向けた課題認識、アジア競技大会における運営上のトラブルに対する受け止めと今後の国際大会招致への影響の有無

関芳弘文部科学大臣記者会見映像版

令和8年9月29日（火曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。

令和8年9月29日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）

関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版

後日、アップロードします。

ページの先頭に戻る

お問合せ先

大臣官房政策課広報室

（大臣官房政策課広報室）

ページの先頭に戻る

文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年9月29日）YouTube 字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00733.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00733.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: <https://www.youtube.com/watch?v=Lu0Y3rTLMXE>

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-09-29T12:01:15.995623+00:00

[00:00:00] はい。え、皆様おはようございます。え、
[00:00:03] ただいまから会見をさせていただきたいと
[00:00:06] 思います。え、冒頭私からあの2件、え、
[00:00:09] 申し上げたいと思います。え、まず1件目
[00:00:12] でございます。え、本日AI4サイエンス
[00:00:17] 確新的研究推進事業アライズについてで
[00:00:21] ございますが、え、在宅課題の31件を
[00:00:26] 決定をいたしました。え、本事業でござい
[00:00:29] ますが、え、AIOサイエンスについて
[00:00:33] 世界を先駆する科学研究成果の創出、え、
[00:00:38] 及び世界トップレベルの研究機関、研究者
[00:00:42] との戦略的な国際連携等を推進する
[00:00:47] フラッグシッププログラムでございます。
[00:00:50] え、今回のアライズとあらゆる分野でAI
[00:00:55] 4サイエンスのその拡大を破壊せず、え、
[00:00:59] スプレッド線を両輪として進めますことで
[00:01:04] 、え、我が国がAI4サイエンスの先進国
[00:01:08] の地位を築くことを目指してまいりたい
[00:01:11] と思います。え、さらにAIサイエンスを
[00:01:16] 巡る国際競争がますます
[00:01:20] 中で、令和9年度の外産要求ではこれらの
[00:01:26] 事業の拡充を盛り込んでいるところ、我が
[00:01:31] 国の研究力向上に向けましてAI4
[00:01:35] サイエンスをより一層強力に、え、推進を
[00:01:38] してまいりたいと思います。
[00:01:41] これが1点目でございます。
[00:01:44] え、2件目を申し上げたいと思います。え
[00:01:47] 、令和3年8月より建造を進めてまいり

[00:01:51] ました。北極域研究戦未来2でございます
[00:01:57] が、え、本年の12月18日に造船、え、
[00:02:02] 会社からジャムステックの方へ引き渡しさ
[00:02:05] れることが決定をいたしました。
[00:02:09] 引き渡し後はジャムステックでは複数の
[00:02:13] 会域で会域で、え、採表や観測
[00:02:19] 作業の訓練等を行います。間熟、え、これ
[00:02:25] を実施しつつ年度内に首都圏のお広め、え
[00:02:30] 、来年4月に青森県市や函館市での一般
[00:02:35] 公開を実施をしていく予定でございます。
[00:02:39] え、各イベントの詳細につきましては、あ
[00:02:42] 、決定次第ジャムテックや開催地の地方
[00:02:45] 公共団体より発表予定でございます。え、
[00:02:50] 文部科学省といたしましては、え、未来2
[00:02:53] を国際研究プラットフォームといたしまし
[00:02:55] て積極的に活用して、え、引き続き海洋
[00:03:01] 分野研究開発を通じまして、我が国の発展
[00:03:06] に貢献をしてまいりたいと思います。え、
[00:03:09] 私からの報告は以上でございます。
[00:03:14] ありがとうございます。え、ではまず
[00:03:16] 質問させていただきます。はい。え、18
[00:03:19] 歳未満の選挙運動が、え、公職選挙法の
[00:03:22] 規定で禁止されているのは憲法違反だとし
[00:03:25] て、17歳から20歳までの4人が国を
[00:03:28] 訴えた裁判で、え、今月25日東京地方
[00:03:32] 裁判所は表現の自由を保障した憲法にする
[00:03:35] という判断を示しました。一進判決につい
[00:03:38] ての大臣の受け止めと学校現場におけ
[00:03:40] る主教育などへの影響など教えてください
[00:03:43] 。はい。
[00:03:45] はい。え、今月の25日の金曜日でござい
[00:03:50] ますが、あ、東京地方裁判所におきまして
[00:03:53] 18歳未満の選挙運動を禁じる公職選挙法
[00:03:57] の規定が、あ、憲法違反であるとの、ま、
[00:03:59] 判決が出たとの報道につきましては、あ、
[00:04:02] 承知をしているところでございます。え、
[00:04:04] 公職選挙法は、ま、総務省の所管の法律で
[00:04:08] ございますから、あ、判決につきましては
[00:04:10] 私からのコメントは差し控えたいと思い
[00:04:14] ます。はい、
[00:04:20] ありがとうございます。え、ではそれでは各皆様からの質問お願いします。え、質問の際
は名使名を名乗ってからお願いいたします。
[00:04:29] はい、どうぞ。
[00:04:34] 共同信の勝と申します。よろしくお願いします。
[00:04:37] あの冒頭でございましたライズについてお伺いをしたいと思います。
[00:04:41] あの、スプレッドについては常に公表され
[00:04:43] ておりますが、今回ライズ初めての採択
[00:04:46] 公表となります。あのAIについては危険
[00:04:49] 性も指摘される一方、研究においてはAI
[00:04:51] の活用がないとも指摘もされております。
[00:04:55] えっと今回あのあらゆ初めての公表となる
[00:04:57] ことで、ま、意気込みと申しますが研究に
[00:04:59] 期待したいこと、あの大臣の方からお願い

[00:05:01] いたします。はい。ありがとうございます
[00:05:03] 。え、本事業では、あ、我が国の強みを
[00:05:07] 最大限に生かしまして、重点分野への集中
[00:05:11] 投資となるような課題が、あ、採択がされ
[00:05:15] ております。え、例えばマテリアル分野で
[00:05:19] ございますが、新素材の開発速度10倍を
[00:05:22] 目指します。マテリアルAI基盤構築
[00:05:26] プロジェクト。え、さらにはですね、
[00:05:29] ライフサイエンス分野ではあらゆる生物の
[00:05:32] 元部情報データ等を統合しまして創薬等の
[00:05:37] 開発を加速するゲノ言語モデル構築
[00:05:40] プロジェクト
[00:05:42] でさらには大型研究施設分野では、え、
[00:05:46] 国内の
[00:05:49] 11の放射施設の測定解析の児童自立型を
[00:05:54] 目指します。AI放射
[00:05:56] 基盤構築プロジェクト等
[00:05:58] がそれに当たると思います。ま、これらの
[00:06:01] 課題、え、を通じまして我が国の研究力
[00:06:05] 向上に向けましてAI4サイエンスをより
[00:06:08] 一層協力に、ええ、推進をしてまいりたい
[00:06:12] と思います。はい、以上です。はい。はい
[00:06:16] 、どうぞ。
[00:06:21] ありがとうございます。工業新聞者の飯田
[00:06:24] と申します。科学
[00:06:25] 技術で質問をさせてください。あの、来週からのベル賞の発表が始まるかと思います。
で、あの、去年はあの、
[00:06:31] 2
[00:06:31] 人の日本人受賞者があの、日本人が受賞していますが、ま、あの、日本には多くの受賞候
補の先生方いらっしゃると思います。あの、今年のあの、発表に向けた期待を大臣からお伺いできれ
ばと思うのと、またその日本の危険金所研究力の強化について文科で取り組むことに関して教えてく
ださい。お願いします。
[00:06:52] はい。
[00:06:53] え、我が国のあの優れた研究者が、ま、
[00:06:55] ノーベル賞の受賞という形で、え、世界的
[00:07:00] な評価を受けますことはもう本当に国の
[00:07:02] 誇りであると考えております。また国民の
[00:07:05] 皆様方にとっても大変励みになることと
[00:07:09] 思っております。え、昨年の北川先生や
[00:07:12] 坂口先生の重賞に続きまして、え、日本の
[00:07:15] 事業者が発表されることを強く期待を
[00:07:18] いたしております。また基礎研究でござい
[00:07:21] ますが、ま、人類の発展の基盤となります
[00:07:25] 。貴重な知的財産あ、資産を、ま、想像
[00:07:29] いたしまして、引いてはイノベーションの
[00:07:32] 厳選を生み出すものでございます。え、
[00:07:34] 基礎研究力の向上は喫金の課題と考えてる
[00:07:37] ところでございます。で、我々文部科学省
[00:07:41] といたしましては、あ、研究者の自由な
[00:07:44] 発想に基づく研究を支える、え、科学研究
[00:07:49] 費事業いわゆる家計費でございますが、
[00:07:52] この幅の拡充等の競争的研究費の充実が
[00:07:57] 1つ考えておりまして、え、2つには継続

[00:08:00] 的な安定的な教育研究活動を支える基盤的
[00:08:06] 経費でございます。国立大学法人運営
[00:08:09] 費行付金の幅な拡充を考えております。
[00:08:13] そして3つには世界トップレベルの研究者
[00:08:16] が集まります国際的な研究拠点の形成
[00:08:20] WPIですね。この取り組みに取り組み
[00:08:24] を進めているところでございます。ま、
[00:08:27] 引き続きまして、あ、必要となります政策
[00:08:30] を相動をいたしまして、え、基礎研究力の
[00:08:34] さらなる向上に取り組んでまいりたいと
[00:08:36] 思います。
[00:08:37] はい。はい。どうぞ。はい。じゃあこちら。はい。どうぞ。
[00:08:44] お新部の記者と申します。よろしくお願いいたします。
[00:08:47] はい、よろしくお願いいたします。
[00:08:49] 東大の朝鮮の関係でお伺いします。えっと、東京大学校朝鮮で藤垣行選出いたしました。
[00:08:57] え、戦発の早朝と言いますが、あの、直面するバランスナンス問題を含めて、え、どのよ
うな取りを期待するのかお伺いします。
[00:09:04] で、また、え、昨の国大学の早朝選挙では
[00:09:08] 、え、教職員による移行投票で1位でない
[00:09:11] 候補者が選出される事例もありまして、
[00:09:13] 投票した教員などの反発も起きています。
[00:09:17] 現行では最終決定権は先行会議にあると
[00:09:19] 定められていまして、多くの大学では移行
[00:09:22] は判断材料の1つと位続けられているよう
[00:09:24] なんです、え、当初を行う以上、最終的
[00:09:27] な性質の基準や理由をより丁寧に説明する
[00:09:31] 必要があるかなと思っています。
[00:09:33] 大臣のお伺いをお伺いします。
[00:09:34] はい。あの、尋ねの事でございますが、あの、昨日
[00:09:39] 28
[00:09:40] 日、え、東京大学の早朝先行会議におきまして、え、時期早朝候補者が、あ、先行をされ
たものと承知をいたしております。
[00:09:52] ま、早朝先行観察会議におきましては、え
[00:09:56] 、今回なぜそのような判断をしたのか、あ
[00:09:59] 、学内にしっかりと説明する必要があると
[00:10:03] 考えておりまして、え、早朝選行観察会議
[00:10:07] の対応を中止をしてまいりたいと思って
[00:10:11] おります。
[00:10:13] はい。そして、え、その移行投票の順位の
[00:10:19] 件でございますが、ま、国立大学法人の
[00:10:24] 学長の先行でございますけれども、お
[00:10:28] 、え、学内外の意見を、ま、反映をいたし
[00:10:31] ますために法律上学内学外同の、ま、委員
[00:10:35] により構成される学長先行観察会議におい
[00:10:38] て、ま、行うとされておるところござい
[00:10:41] ます。え、先行理由及び先行家程を
[00:10:44] しっかりと、ま、説明していくことなどが
[00:10:47] 学先行観察会議は確実に、え、説明責任を
[00:10:51] 果たしていくことにつがると思いますので
[00:10:53] 、それをしっかり我々もあの重視をしまし
[00:10:56] て、え、今後対応を中止をしてまいりたい
[00:10:59] と考えてるところでございます。はい。
[00:11:04] 今後の期待についてまし[咳払い]

[00:11:06] [鼻息]

[00:11:07] 、今後の期待ですか?はい。

[00:11:11] はい。ま、まずは、あの、今後、ま、この

[00:11:14] 今回のあの、その先行のあの、結果を受け

[00:11:19] ましてですね、え、ま、この早朝先行観察

[00:11:23] 会議色々またあの対応に関しまして

[00:11:28] いろんなまたあの過程があるかもしれません

[00:11:31] んので、とりあえず今のところはあの

[00:11:34] 先ほど申したようなあの投票の結果など

[00:11:38] 色々なところがまだあの

[00:11:41] 色々なを通るかも分かりませんので、もう少しあの状況中止をしておきたいなと思ってる
ところでございます。

[00:11:48] はい。はい。え、じゃあはい。どうぞ。教育新聞の本と申します。お願いいたします。

[00:12:02] はい。はい。お願いします。

[00:12:03] 学校と地域の連携と点について伺います。

[00:12:07] はい。え、現在中教市の学校安全部会で第

[00:12:09] 4次学校安全の推進に関する計画の策定に

[00:12:12] 向けた議論が進んでいます。指問では学校

[00:12:15] 内外の安全確保などの検討について

[00:12:18] コミュニティスクールの仕組みの活用を

[00:12:20] 通じて家庭関係機関と連携した対策を実行

[00:12:24] することが求められてあの学校安全部会で

[00:12:27] もあのコミュニティスクールが議論の中で

[00:12:30] あるということがありました。ただその

[00:12:32] 制度補足以降コミュニティスクールが20

[00:12:35] 年が経過しているんですが、[鼻息]まだ

[00:12:37] 設置率が65%程度でまっているという

[00:12:40] いう現状があります。学校安全に限らず

[00:12:43] 学校と地域の推進していく中で

[00:12:46] コミュニティスプリントのような役割を

[00:12:48] 期待するのか、また今後も導入した課題を

[00:12:50] 決してください。はい。え、コミュニティ

[00:12:54] スクールでございますけれども、あの、

[00:12:57] 法律によりましてその設置が、あの、努力

[00:13:00] 義務化されました。あ、平成29年4月

[00:13:03] 当時の導入数でございますけれども、全国

[00:13:07] の高立学校の3600個でございました。

[00:13:11] え、その後着実に、ま、導入が進んで

[00:13:14] まいりまして、令和7年5月現在では

[00:13:16] 2万29

[00:13:18] 個。お、先ほど申しましたように、

[00:13:21] おっしゃいましたように約65%が導入さ

[00:13:24] れておりまして、ま、傾向としましては

[00:13:26] 増加傾向にございます。で、これまで

[00:13:29] コミュニティスクールの導入によりまして

[00:13:31] 、え、学校と保護者地域住民との相互理解

[00:13:36] や[鼻息]また、あの、特色ある学校作り

[00:13:39] や教育家庭の改善や充実、また学校安全、

[00:13:43] 地域防災の取り組みなどの成果、ま、これ

[00:13:46] らがあの上げられております。学校と地域

[00:13:49] が連携共同した取り組みが、ま、進んで

[00:13:52] いる姿だと思います。で、本年の8月に

[00:13:56] ですね、あの、取りまとめられました、

[00:13:59] 中央教育審議会の障害学習文化会の審議
[00:14:04] 家程、え、経過報告ですね、審議の経過
[00:14:08] 報告におきまして子供たちを取り巻く
[00:14:11] 課題が多様化
[00:14:14] しておりますと、そういう風な中におき
[00:14:16] まして地域全体で子供の学びや成長を支え
[00:14:20] ますために、え、その基盤となります
[00:14:22] コミュニティスクールのサナーの推進。
[00:14:25] これが求められているところでございます
[00:14:27] 。で、一方で、え、地域間や学校主間に
[00:14:31] おけます導入状況の差や、え、協議の形式
[00:14:35] と形式化といった課題も、ま、生じており
[00:14:38] まして、文部科学省におきましては1つに
[00:14:41] は導入促進や協議の実行性の向上に向け
[00:14:46] ました有識者による絆創の支援、また1つ
[00:14:50] には事事体におけますアドバイザー配置等
[00:14:52] の体制構築や研究に対します支援、また1
[00:14:59] つにはあの全国フォーラムの開催や大臣
[00:15:02] 表彰等を通じました工事例の周知。え、ま
[00:15:05] 、こういう風なことをですね、え、
[00:15:07] コミュニティスクールの導入促進と機能に
[00:15:10] 向けて我々は、ま、引き続き取り組んで
[00:15:13] まいりたいと、ま、そのように考えてる
[00:15:14] ところでございます。以上です。はい。
[00:15:18] 他はい、どうぞ。あ、はい、どうぞ。
[00:15:22] 毎日新聞のと申します。第1県で開催中の
[00:15:26] アジア展開について伺いたいします。
[00:15:28] あのアジア展開ではですね、今回国家の
[00:15:31] 流し間違いや車両の手配ミスなどの
[00:15:33] トラブルが相ついております。え、研修団
[00:15:36] などから不満の声が上がっているの一部
[00:15:38] 報道がありますが農科省庁ではあの直接
[00:15:42] 所管されていないかもしれませんが開催の
[00:15:44] 一部を負担している立場からのお受け止め
[00:15:47] と今後の国際的なスポーツ大会承知を
[00:15:49] 及ぼす影響をどのように考えているかをお
[00:15:52] できるかと思います。はい。
[00:15:56] ま、あの、アジア競技大会の運営を巡り
[00:15:58] まして、え、様々なあの批判の声があると
[00:16:02] の報道につきましては承知をいたしており
[00:16:04] ます。大会上にあたりまして、え、先週が
[00:16:08] 安心して協議に集中できる環境を確保する
[00:16:11] ことが重要であると、ま、そのように考え
[00:16:14] ております。大会組織委員会におきまして
[00:16:17] は個々の事案に対しまして、え、原因の
[00:16:21] 検証を行うとともに再発防止等の徹底を
[00:16:24] 図るなど安全安心で円滑な大会運営に向け
[00:16:28] ました対応を進めているものと承知を
[00:16:32] いたしております。で、引き続き大会組織
[00:16:35] 委員会におきまして選手や関係者の皆様の
[00:16:38] 声を丁寧に伺いながら適切に対応をして
[00:16:43] いただきたいと思います。また、
[00:16:46] あの、今後国際協議大会の承知等について

[00:16:51] の影響等は、ま、特段考えてないところで
[00:16:53] ございますけれども、我々もですね、組織
[00:16:57] 委員会とのこまめにコミュニケーションを
[00:16:59] 取って、え、大会運営にはしっかりと協力
[00:17:02] はしてまいりたいと、そのように、え、
[00:17:04] 大会主催者である大会組織委員会に、え、
[00:17:08] 適切に対応していただくこともフォローを
[00:17:10] していきたいと、ま、そのように考えてる
[00:17:12] ところでございます。
[00:17:15] 方ございますか?はい、どうぞ。共通信、共同です。失礼します。あの、僕の
[00:17:21] [咳払い]
[00:17:24] NHCさんの質問でありました、あの、
[00:17:26] 18
[00:17:26] 選権の件判決なんですけども、あの、ま、もう書館で判決について差し控えてなした上
で、あの、主権者教育ですとか、あの、教育活動の影響についてどう、あの、取り組んでいくか、お
伺いをお願いします。
[00:17:37] はい。え、現段階ですね、あの、直ちに
[00:17:41] 学校におけます試験者教育に、ま、あの、
[00:17:46] こう影響が今の段階で出て、え、生じて
[00:17:49] くるという感じでは我々捉えておりません
[00:17:52] が、いずれにしましても引き続き関連法令
[00:17:54] とも、ま、踏まえつつですね、あの、政治
[00:17:57] 的中立性を確保していくこと、そして、ま
[00:18:01] 、主権者教育には、あの、取り組んで
[00:18:04] いただきたいと、そのようにあの、考えて
[00:18:08] とでございますので、え、よろしくお願ひしたいと思います。はい。
[00:18:14] はい。
[00:18:14] よろしいでしょうか?はい。
[00:18:17] [鼻息]
[00:18:19] え、で、それでは以上で会見を終了します。ありがとうございました。
[00:18:24] はい、どうもありがとうございました。よろしくお願ひします。